

霜月(December)の校長 「オリパラ教育講演会」(R3.11.24)

令和3年度オリパラ教育推進校である本校の1年生全員対象に、島根県教育委員会が主催で「オリパラ教育講演会」を開催しました。講師として、車いすテニスで東京パラリンピックに出場された島根県出雲市ご出身の三木拓也氏をお招きすることができました。

私は、長年テニス部の顧問をしていた関係もあって、三木さんが出雲高校テニス部員として活躍されていた時のことを覚えていました。今回の益田高校での講演が、パラリンピック出場後初めての講演ということでしたが、テニスというスポーツを通して生徒にどんな話をしていただけるのかと、この日が来るのを心待ちにしていました。

本校体育館での講演でしたが、最初は、事前に準備しておいたテニス用ネットを挟んで、皆が取り囲んで見守る中、テニス部1年の小河真緒さんとラリーを演じ、その技術の一端を披露してくださいました。(小河さんもナイスプレーでした!)また、希望した生徒、教員が実際に車いすに乗って動いてみる経験もさせてもらいました。

演題は「個性の育て方」。高校3年時に左脚に骨肉腫を発症し、車いすテニスの国枝慎吾氏が、北京パラリンピック決勝戦で躍動する姿に感化され、パラリンピアンを目指されたことから話されました。まずは夢を持つこと。そしてその夢を実現するためには「決断」と「行動」が必要であること。予測と結果の検証のもと、失敗を恐れず、経験できる機会や触れることのできる機会を大切にすること。そんな出会いが次に繋がる場となる鍵であり、「決断」と「行動」の積み重ねが自分らしさ(個性)に繋がると、ご自身の経験をもとにして分かり易く説明してくださいました。そして、「継続は力なり」という言葉が好きだとも言われました。

講演終了後、パラリンピックを見た手を挙げてくれた生徒が大多数であったことをとても喜んでおられ、この後、1月の大会のためシドニーへ行かれるとのことでした。この講演を通して、障がい者スポーツに対する理解を深め、自らの生き方を考えるとても良い機会になりました。お忙しい中、貴重な時間を経験させていただき心より感謝しております。

次は、12月に第2弾として、2年生全員対象にブラインドサッカーチーム「島根おろちビート浜田」代表の拝上誠氏にご講演をいただく予定にしています。楽しみです!